

財政健全化計画等執行状況報告書

1. 基本的事項

団体名	多気町	会計名	水道事業会計	団体担当者	森川 直昭
承認年度	平成19年度				

2. 判定結果

項目	計画最終年度(又は改善額合計)			計画前年度実績(又は補償金免除額)		類型
	目標値	実績見込値	乖離値	実績値	乖離値	
① 地方債現在高						
② 実質公債費比率						
③ 職員数	1.0	1.0	0.0	1.0	0.0	a
④ 改善額	427.0	23.0	404.0	107.0	84.0	c
⑤ 公営企業債現在高	1452.0	1200.0	252.0	1562.0	362.0	a
⑥ 累積欠損金比率	-	0.0		-		a
					総合判定	c

3. その他

(i) 計画及び前年度執行状況の公表状況

計画:平成20年3月 公表 (HP) 広報紙・その他【 】)
 執行状況:平成22年8月 公表 (HP) 広報紙・その他【 】)

(ii) 計画及び前年度執行状況の議会への説明

計画:平成19年12月 説明
 執行状況:平成22年9月 説明

(iii) 平成22年度提出予定の旧資金運用部資金の補償金免除繰上償還に係る財政健全化計画等

- 財政健全化計画
- 公営企業経営健全化計画
- 水道事業 ()
 - 工業用水道事業
 - 都市高速鉄道事業
 - 下水道事業 ()
 - 病院事業
 - 介護サービス事業
- 提出予定なし

団体名	多気町
会計名	水道事業会計

類型	a
----	---

③ 職員数

(i) 推移表

(単位:名)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度 (平成23年度)	平成21年度 計画目標値
計画目標値(A)	1	1	1	1	1	1
実績(見込)値(B)	1	1	1	1	1	
乖離値(C) (A-B)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
乖離率(D) (C/A)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(ii) 要因分析

計画最終年度における 未達成の要因	影響人数(単位:名)					備考	やむを得ない 事情
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
合計	-	-	-	-	-		

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

Blank area for (iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

Blank area for (iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

(v)改善方針の進捗状況

Blank area for (v)改善方針の進捗状況

団体名	多気町
会計名	水道事業会計

④ 改善額

類型	C
----	---

(i) 推移表

(単位:百万円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	改善額合計	補償金免除額
計画目標値(A)	3	6	6	6	406	427	107
実績(見込)値(B)	3	5	5	5	5	23	
乖離値(C) (B-A)	0.0	▲1.0	▲1.0	▲1.0	▲401.0	▲404.0	▲84.0
乖離率(D) (C/A)	0.0%	-16.7%	-16.7%	-16.7%	-98.8%	-94.6%	-78.5%

(ii) 要因分析

計画最終年度における未達成の要因	影響額(単位:百万円)						備考	やむを得ない事情
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	合計		
料金収入の減		1	1	1	1	4	企業及び一般家庭全般からの収入源(H20→H19で△13.5百万円)	22
施設統廃合による経費削減					400	400	H24以降に統廃合(供用開始)予定	10
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
合計	-	1	1	1	401	404		

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

料金改定による収入増をH20年度以降600万程度見込んでいたが、改訂前及び平成20年度において、基本料金の高い大口径から一般的な口径への減径申請が相次いだことにより当初の予定よりも収入の増加を下方修正した。
この差額分については、町内で整備が進んでいた商工業エリアへの給水開始による増収により補える見込みであったが、経済状況の悪化に伴って企業における使用水量(主にシャープ(株)及びその関連企業)が減り、また企業や店舗の従業員の社宅等として機能していた賃貸住宅への入居者が激減したため、見込んでいた増加まで至らなかった。

勢和地区における水道施設の統廃合の予定は、関係する県企業庁(南勢水道)及び大台町との協議により工事計画の変更が生じており、供用開始が当初の計画より遅れている。

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

景気の回復に伴って、企業活動の活発化、商工業エリアへの出店と、賃貸住宅への入居により水道使用量が従前まで回復することで水道使用量の増加が見込める。

勢和地区における水道施設の統廃合については、平成22年度～平成26年度に整備し、平成27年度に供用開始を予定している。

県企業庁(南勢水道)の受水費の値下げにより、平成22年度から毎年、15百万円の改善額が見込まれる。

水道管の更新を、下水道管布設工事に併せて施工しており、水道管更新工事を単独で行った場合に比較して下記の改善額が見込まれる。
(平成19・20・21年度は実績値、平成22・23年度は見込値)

年度	管路延長(m)	単価(円/m)	改善額(千円)
19	2,740	9,300	25,482
20	5,877	9,300	54,656
21	4,984	9,300	46,351
22	5,783	7,800	45,107
23	3,711	7,800	28,945
合計	23,095		200,541千円→201百万円

(v)改善方針の進捗状況

団体名	多気町
会計名	水道事業会計

類型	a
----	---

⑤ 公営企業債現在高

(i) 推移表

(単位:百万円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度 (平成23年度)	計画前年度 (平成18年度)
計画目標値(A)	1,432	1,291	1,359	1,410	1,452	1,562
実績(見込)値(B)	1,407	1,278	1,137	1,200	1,200	
乖離値(C) (A-B)	25	13	222	210	252	362
乖離率(D) (C/A)	1.7%	1.0%	16.3%	14.9%	17.4%	23.2%

(ii) 要因分析

計画最終年度における 未達成の要因	影響額(単位:百万円)					備考	やむを得ない 事情
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
合計	-	-	-	-	-		

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

Empty dashed box for (iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

Empty dashed box for (iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

(v)改善方針の進捗状況

Empty dashed box for (v)改善方針の進捗状況

団体名	多気町
会計名	水道事業会計

⑥ 累積欠損金比率

類型	a
----	---

(i) 推移表

(単位:%)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度 (平成23年度)	計画前年度 (平成18年度)
計画目標値(A)	-	-	-	-	-	-
実績(見込)値(B)	-	-	-	-	-	-
乖離値(C) (A-B)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
乖離率(D) (C/A)						

(ii) 要因分析

(単位:百万円、%)

	計画最終年度(平成23年度)		再算定値
	計画目標値(A)	実績見込値(B)	
分母(営業収益等)			
分子(累積欠損金)			
累積欠損金比率			

分母悪化要因

(単位:百万円)

要因	影響額(百万円)	備考	やむを得ない事情
合計	-		

分子悪化要因

(単位:百万円)

年度	純損益		乖離値(A-B)	乖離要因	やむを得ない事情
	計画目標値(A)	実績見込値(B)			
平成19年度					
平成20年度					
平成21年度					
平成22年度					
平成23年度					
合計			-		

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

--

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

--

(v)改善方針の進捗状況

--